

第14～22回の主な千城台地区学校適正配置地元代表協議会（概要）（資料1）

第14回協議会 今後の協議について

会長・副会長から「今後の協議について」が提案され、協議の結果、下記の5点について協議会として合意がなされた。

- 1 統合時期を平成27年4月として協議を行う。
- 2 現行学区での統合を検討する。
- 3 配置においては、「子どもたちにとってのより良い教育環境」の視点を重視する。
- 4 中学校統合については今後の協議に関連して、必要に応じて行う。
- 5 事務局は随時情報収集し、地元代表協議会に情報提供を行う。

第15回協議会 千城台地区小学校の適正配置について

事務局が「千城台地区における『特色ある教育活動』」「小学校の統合・現行学区での統合シミュレーション（35人学級編制の場合）」、「中学校の生徒数推計・統合シミュレーション」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、次回も継続審議とし、中学校の統合協議も含めて「小学校の適正配置」について引き続き協議を行うことが確認された。

第16～19回協議会 千城台地区小学校の適正配置について

会長・副会長から、小学校統合シミュレーションのうち、「A案（2番）・B案（5番）」について再提案が行われた後、協議を行った。その結果、次回も引き続き小学校統合について協議を行うこととし、中学校の統合について各団体で話し合ってくることが確認された。

第20回協議会 千城台地区小学校の適正配置について

事務局が「協議の論点整理表」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、次回は中学校の適正配置の必要性について協議を先に行うこととし、それを踏まえて小学校の統合協議を行うことが確認された。また、27年4月統合の目標は先送りすることとなった。

第21回協議会 千城台地区中学校の適正配置について

事務局が、「学校適正配置の必要性」「中学校の生徒数推計・統合シミュレーション」「千城台地区中学校に在籍する生徒の居住分布状況」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、次回も引き続き、中学校の統合協議を行うことが確認された。

第22回協議会 千城台地区中学校の適正配置について

事務局が、「中学校の適正配置の必要性 論点整理表」を中心に説明を行った後、協議を行った。その結果、中学校の統合の必要性については、「両中学校とも適正規模でないため、統合の必要性はあるが、中学校の統合は、強行せず見送ることが妥当である」ことが確認され、次回の協議会で、再度確認するとともに、小学校の統合協議を進めることとした。

協議の進め方

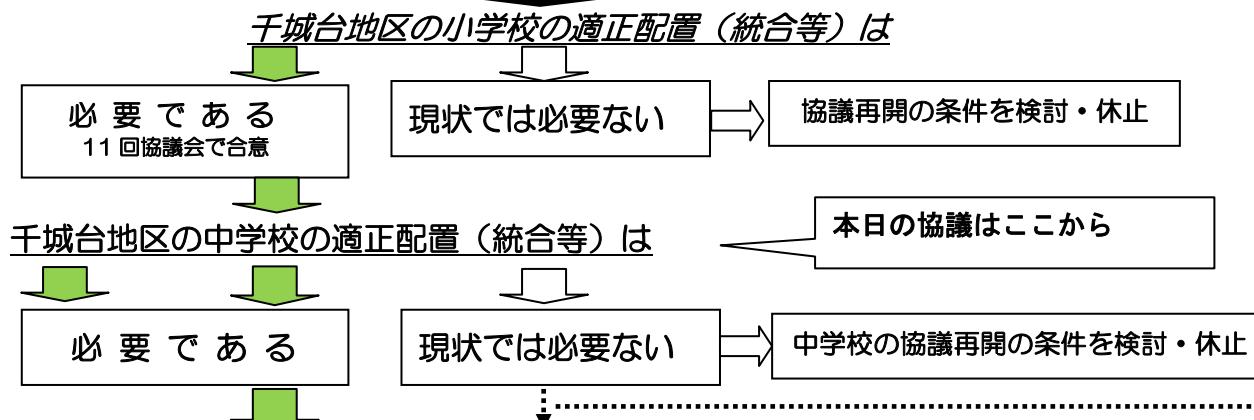
(資料2)

適正配置（統合等）の必要性の協議

○適正配置とは？

- ・適正配置によって何が良くなるのか。（ならないのか。）
 - ・学校規模、学級規模、教員配置の基準は何か。
 - ・統合後の教育環境整備（教員等の加配、校舎改修等）はどうなるのか。
 - ・通学路の安全確保はできるのか。（通学路の状況、通学距離等）
 - ・地域との関係をどのように調整するのか。
 - ・話し合いをどのように進めるのか。
- など

合意



適正配置（統合等）の具体的な内容の協議

- ・統合の組合せ（どの学校とどの学校を統合するのか）
- ・統合の場所（統合校をどこに置くのか。）
- ・統合の時期（いつ統合するのか）

視点
子どもにとっての
より良い教育環境
規模・配置・・・

合意

合意事項を「統合に関する要望書」として
教育長へ提出

不合意

協議再開の条件を検討

適正配置（統合等）後の跡施設活用の協議

教育委員会会議で協議
→適切であると判断した場合
決定

合意

合意事項を「跡施設活用に関する要望書」として市長へ提出